

授業科目名 ( 英文名 )	放射光工学特別演習 (Advanced Seminar in Synchrotron Radiation Engineering )	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1・2年次 後期
担当教員	橋本 智 天野 壮 内海 裕一 渡邊 健夫 神田 一浩 春山 雄一	所属	高度産業科学技術研究所 <a href="http://www.subaru.lasti.u-hyogo.ac.jp">http://www.subaru.lasti.u-hyogo.ac.jp</a>
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	高度産業科学技術研究所に属する教員がオムニバス形式で指導し、学生に放射光の発生と放射光利用に関する原著論文の講読と発表を行なわせることにより、基本的な研究能力および問題解決能力を養うことを目的とする。また、これらの能力を活用して未知の問題を解決できるようになることを到達目標とする。		
講義内容・授業計画	放射光の発生原理やニュースバル放射光施設などをはじめとした最先端技術・研究に関して、学術的・技術的な知見を深めるための講義をオムニバス方式で行うと共に、各担当教員からの課題に取り組む。		
テキスト	必要に応じて各担当教員から配布する。		
参考文献	必要に応じて各担当教員から紹介する。		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準; 研究室より出される各課題の解決に必要な能力(知識・技能・思考力・判断力・表現力等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。 成績評価の方法: 研究室に於ける普段の取り組み姿勢と各課題の達成度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	履修学生は高度研の研究室所属であることが望ましい。  新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考	ニュースバル放射光施設 <a href="http://www.subaru.lasti.u-hyogo.ac.jp/NS">http://www.subaru.lasti.u-hyogo.ac.jp/NS</a>		